

令和2年度 事業報告

I 事業の概要

1. 美術館開館事業

(1) 令和2年春季特別展 茶道具取合展「風光る」

期 間 令和2年3月3日～令和2年4月8日(当初の予定では6月7日まで)
令和2年2月から始まった新型コロナウイルスの蔓延で、4月7日に東京・大阪・兵庫他計7都府県に緊急事態宣言が発令されたことから、4月9日から5月7日まで休館することとした。その後4月16日には全国に拡大されることになり、更に開館予定最終日の6月7日まで休館することとした。

(令和2年度春季開館日数 7日間)

展示品 別紙展示目録の通り

尚、新型コロナウイルス蔓延による助成金(補助金)を下記のとおり受取った。

- ①京都府 休業要請対象事業者支援給付金 20万円
- ②京都市観光協会 パーティションや非接触型体温計・消毒液他 3万円
- ③労働局 美術館受付や四君子苑の開苑中止による、スタッフの休業手当 36.6万円

(2) 令和2年秋季特別展 茶道具取合展「閑雅」

期 間 令和2年9月5日～令和2年12月6日 (開館日数79日)

展示品 別紙展示目録の通り

(3) 令和3年春季特別展 茶道具取合展「露地清晨」

期 間 令和3年3月6日～令和3年6月6日 (開館日数79日)

(令和2年度開館日数22日)

展示品 別紙展示目録の通り

(4) 入館者数、入館料収入

展示名	開館日数	入館者数							入館料収入
		一般	学生	団体			身障者 他	合計	
				一般	同門会	学生			
¥600	¥400	¥500	¥450	¥300					
風光る	7	11	2	1	0	0	0	14	7,900
閑雅	79	594	67	620	67	0	36	1,384	723,350
露地清晨	22	164	32	10	28	0	9	243	128,800
令和2年度	108	769	101	631	95	0	45	1,641	860,050
(参考)令和元年度	170	1,839	93	1,834	312	71	134	4,283	2,219,300
平成30年度	155	1,795	142	1,783	397	4	120	4,241	2,205,150
平成29年度	155	2,135	120	1,866	397	6	114	4,638	2,442,450

注 同門会は表千家同門会会員

2. 四君子苑開苑事業

4月14日から19日まで公開予定であった春季公開は、新型コロナウイルス蔓延防止のため3月中旬に規模を縮小して行う事としていたが、他の美術館等の動向も見ながら開苑するか検討し、3月31日に中止することとした。

尚4月7日には東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡に緊急事態宣言が発令され、京都府も特定警戒都道府県に指定されたので、中止の判断は良かった。

その後4月16日には全国に緊急事態宣言が発令された。(5月25日、全国に解除宣言が出された。)

秋季公開については新型コロナウイルスの蔓延下ではあるが、ゴーツートラベル等の経済活性化策がとられる状態となったので、苑建物内でのガイドは行わずに、入場制限を35名とし、新型コロナウイルス対策(マスクの着用、検温、連絡先の記入依頼)を実施の上、開苑することとした。

尚、4月の春季公開を中止にしたことで、前年同月(4月)比50%以上の減収となり、国から持続化給付金200万円の助成を受けた。(1人2,000円の苑・美術館共通の入場料の1,000人分となり苑公開収入の減収を補った。)

公開日			
月	日	相手先	人数
4月	14日～19日	一般公開	中止
10月	13日	一般公開	62
	14日	一般公開	73
	15日	一般公開	87
	16日	一般公開	82
	17日	一般公開	105
	18日	一般公開	134
	21日	特別公開 村上重	4
2月	17日	特別公開 長瀬建築設計事務所	4
合計			551

(2) 入苑者数、入苑料収入

公開年度	開苑日数	入苑者数	入苑料収入
令和2年度	8	551	828,500
令和元年度	15	1,350	2,025,000
平成30年度	20	1,544	2,275,600
平成29年度	14	1,368	2,052,000

3. 四君子苑貸出事業

相手先	日	場所	内容	貸出料
三井嶺建築設計事務所	令和2年 10月20日	四君子苑	専門家で、ゆっくり見学したいとの希望で秋の公開後に貸出。	20,000
(株)ミリエール(裏千家の関係会社) (株)パナソニックの若手デザイナー	令和3年 3月19日	四君子苑 母屋	旧松下電工が和の照明をミリエールの監修で発売した経緯で、若手デザイナーに日本文化を学ばせる機会として、元京都工芸繊維大学教授の先生が講義を行い、その後見学。	55,000
合計				75,000

4. 館外展示事業(お茶会)

大徳寺孤蓬庵で実施予定であった松平家 不昧公命日献茶式・徳禅寺650年大遠忌・知足会・第五回神護寺茶会は全て新型コロナウイルスの蔓延で中止となった。

5. 館外展示事業(貸出)

展示会名	貸出美術品	展示期間	展示場所	
開館記念展「京都の美術 250年の夢 第1部～第3部総集編 江戸から現代へ」	重要文化財 蕪村筆 鳶鴉図	10月10日 ～ 12月6日	京都市美術館	
特別展「桃山 天下人の100年」	月に萩下絵新古今集和歌色紙一幅 重要文化財 夕顔蒔絵硯箱一合 重要文化財 織部松皮菱手鉢	10月6日 ～ 11月29日	東京国立博物館	
開館40周年「樂代々」展	黒樂平茶碗 銘 北海 赤樂茶碗 銘 夕紅葉 黒樂茶碗 銘 雪山	10月3日 ～ 11月8日	田部美術館	新型コロナウイルスのため、取下げ
春の江戸絵画まつり 与謝蕪村	重要文化財 蕪村筆 鳶鴉図	令和3年 3月13日 ～ 5月9日	府中市美術館	
令和3年 春季特別展「神仏に捧げられた美 平安から鎌倉へ」	高野山 安養院伝来 重要美術品 金銅火舎香炉 金銅連弁飾華瓶金銅六器	令和3年 3月13日 ～ 5月31日	MIHO MUSEUM	新型コロナウイルスのため、取下げ
-心の情景- 歌枕	瀬戸茶入 銘 広沢 吸坂焼武蔵野皿 5客	令和3年 1月15日 ～ 3月28日	サントリー美術館	新型コロナウイルスのため、取下げ

6. 撮影掲載料(掲載)収入について

依頼先	雑誌・書籍名等	掲載する館蔵品名
小学館「和楽」	『ニッポンの銘茶碗 100 原寸大図鑑』 (2020.6.25 発行)	雲鶴狂言袴文茶碗 銘 疋田筒 古瀬戸平茶碗(山茶碗) 黄瀬戸茶碗 銘 唐衣 重要文化財 色絵鱗波文茶碗 金海茶碗 黒平樂茶碗 銘 北海 計 6点
淡交社 なごみ 編集部	「なごみ」(5月号) 小特集「溝口翠濤の茶の湯」	小堀遠州作 茶杓 式部卿様まいる
サイバー・ネット・コミュニ ケーション(株)	①文部科学省検定教科書 高等学校芸術科美術教科書 高校美術 I ②文部科学省検定教科書 高等学校芸術科美術教科書 高校生の美術 I	重文 蕪村筆紙本墨画淡彩鶯鴉図双幅
淡交社	淡交テキスト「よむ・みる・掛ける 茶席の掛物」 (2020年7号)	春日懷紙 中臣祐定筆
淡交社 東京支社	月刊誌『なごみ』2020年8月号に掲載	四君子苑・四方仏手水鉢(喜多章氏 撮影)
一般社団法人 美術検定協会	eラーニング『美術検定～アートを楽しむ学習プログラム』 』におけるオンライン美術史学習ツールに掲載	与謝蕪村筆 重要文化財「鴉図」
㈱大有 月刊「遠州」編集部	月間「遠州」(9月号) 『茶の湯の道具』に掲載	中臣祐定筆「春日懷紙」
㈱マガジンハウス CasaBRUTUS	CasaBRUTUS特別編集ムック	杉本博司が案内する「おさらい日本 の名建築」(仮)
NHKエンタープライズ 近畿総支社	NHK番組「歴史秘話ヒストリア 藤原定家」の制作 に使用 (含、再放送、海外放送、インターネット配信 - NHKオンデマンド、NHKプラス)	重要文化財 明月記 嘉禄三年閏三月三日 部分
㈱テイクオーバー	発行者 ㈱秀学社 中学校用美術科副本 『美術資料』(令和4年度から次の改訂まで≪通例 4～5年間≫使用予定)	野々村仁清 色絵鱗波文茶碗 (全体と部分 2か所に掲載)
㈱アプレコミュニケーションズ	専門誌『Learning Design』の中の『ART』の連載企 画で掲載する。執筆者:矢島新氏(跡見学園女子大 大学教授)	古田織部 「松皮菱形手鉢」
㈱ネクサス開運!なんでも 鑑定団	テレビ東京全国ネット「開運! なんでも鑑定団」 毎週火曜日 20:54	与謝蕪村筆 重要文化財「鶯鴉図」
一般社団法人 日中文化協会	日本蔵中国古代陶磁器珍品 監修:出川哲朗(大阪市立東洋陶磁美術館館長)	青花高砂花入(古染付)
アーテファクトリー	2021年度版 美術科資料集 『表現と鑑賞』 発行・開隆堂出版(株) 発行部数約35万部(4年間で)	重要文化財 与謝蕪村 鴉図
日本の伝統文化をつなぐ実 行委員会	文化庁 文化芸術振興費補助金(令和2年度 地域 文化財総合活用推進事業)事業『桃山の美とこころ -信長・秀吉・家康の遺したもの』に掲載	重要文化財 織部松皮菱手鉢
根津美術館	2021年1月開催予定の企画展「きらきらでん(螺鈿)」 の展示室内解説パネルで紹介のため。	重要文化財 牡丹唐草文螺鈿経箱
淡交社	茶道文化検定 公式テキスト 1級・2級用	重文 仁清 色絵鱗波文茶碗 永楽保全 日の出鶴茶碗
河原書店	『元伯宗旦 - 侘び茶の復興』 (著者・生形貴重、2021年3月 刊行)	元伯宗旦 瓢花入 銘達磨

7. 撮影掲載料(撮影)収入について

依頼先	撮影目的	出版物 または、放送内容	撮影掲載する館蔵品名
淡交社 「淡交テキスト」	「絵の掛物」に焦点を当て、令和3年1月～12月まで、毎月、木下館長による、絵掛物との取合せ、及び 絵掛物を茶席で用いる楽しみについての解説	「絵の掛物」 令和3年1月～12月 予定	四君子苑内で 絵掛物を中心に、茶席での道具の 取合せを撮影
テレビマンユニオン	2005年に建築された京都迎賓館に霧島杉が使用されており、昭和19年に建築された当看大の間にも霧島杉が使用されていることで経年変化すると色合いがこうなることを紹介する	「世界ふしぎ発見！ 迎賓館 赤坂離宮・ 京都迎賓館編」 放送日12月19日 (土) 21:00～21:54	四君子苑:看大の間他
淡交社	『茶の湯の茶碗』 第1巻「唐物茶碗」 第5巻「樂茶碗」 に掲載のため	『茶の湯の茶碗』 全5巻の内 第1巻、第5巻に掲載	安南染付蜻蛉文茶碗 油滴天目 小堀遠州所持 長次郎作 黒樂茶碗 銘 太夫黒 宗入作 黒樂茶碗 銘 北海